

音楽劇

モチモチの木 ～箏の二重奏にのせて～

原作：斉藤隆介（岩崎書店刊「モチモチの木」）

構成・演出：西田豊子 作曲・音楽監督：石井由希子



第一部 音楽劇 モチモチの木

◆ものがたり◆

豆太は5才 山奥の漁師小屋でじさまと二人暮らし。
秋。庭の大きな「モチモチの木」がピカピカの実をつけ、
じさまと2人で作る「モチ」はたまらない程うまいのです。
けれど豆太は、夜になるとモチモチの木が怖くて
ひとりじゃトイレにも行けません。
冬の真夜中、そんな豆太がたった一人、外に飛び出した！
ハダシのまま、寝間着のまま、泣きながら…！

◆劇化にあたって◆

創作童話の名作というべきこの物語。

耳を澄ませばいろんな音楽が聞こえる気がして、

お箏の二重奏と2人の俳優の競演というスタイルが生まれました。

フィナーレでは俳優たちも、劇中は舞台道具であった楽器を手に演奏に参加。

豆太の胸の鼓動のようなリズムが、客席を巻き込み劇場いっばいに広がりますように、と。

第二部

◆終演後はお箏の ミニワークショップも◆

お箏の二重奏に興味津々の子どもたちのために。

俳優&演奏者のご案内で、楽器の説明と音遊びなど

「お箏を知ろう」ミニワークショップを設けます。

